

2021年12月12日（日）

本庄軽 ONE 耐久

エキシビジョンマッチ

規則書

本庄モーターパーク事務局

2021年 本庄軽 one 耐久エキシビジョンマッチ 開催規則書

本庄軽 One 耐久は、本開催規約及び特別規則に従って開催される。

すべての参加者は諸規則を熟読、精通し遵守するとともにオフィシャルの指示に従う義務を負うものとする。

【1】主催・開催場所・申込・お問合せ先

〒367 - 0224 埼玉県本庄市児玉町高柳 883 GOLDEX 本庄モーターパーク 軽耐久レース運営委員会
TEL:0495 - 72 - 9611 / FAX:0495 - 72 - 9612

【2】レース開催日および開催クラス

12月12日(日) K-Oneクラス・K-One改造クラス・N-Nクラス混走3時間耐久レース

【3】エントリーフィー

一般・会社員 ￥34,500/台(保険料別途￥500/名)

学生チーム ￥32,500/台(保険料別途￥500/名)

※保険は参加選手及びピットクルーの方も加入義務があります。

学生チームでエントリーの場合、走行者の3分の2以上のメンバーが学生であることとする。

【4】参加資格

普通自動車免許証の所持者及び、本庄サーキットのビジターライセンスもしくはメンバーライセンス所有者。ライセンスの取得は本庄サーキットフリー走行日の朝8:00もしくは昼12:00の講習を受講してください。また、エントリー完了後、大会当日までの本庄サーキットのフリー走行日に講習を受講したドライバーに関しては新規入会者に限りビジターライセンス入会費用3,500円を免除とし、メンバーライセンス入会の場合3,500円引きとする。

※ライセンス更新及び期限切れ再講習に関しては、ライセンス代免除とはなりませんのでご注意ください。

20歳未満のドライバーが参加する場合、

親権者の署名・捺印(実印)のある未成年者 競技参加承諾書を添えてお申込みください。

【5】募集台数・参加人数

募集台数 - 合計30台(先着)

耐久クラスのドライバーは参加車両1台につき2名からとする。同一ドライバーの他車へのダブルエントリーは認めない。※エントリー状況により各募集台数は多少の変更がある場合もございます。

【6】参加受付

11月12日(金) AM10:00から電話受付開始。※定数になり次第受付終了します。

電話予約後、1週間以内に参加申込書・誓約書に漏れなく記入捺印の上、参加料を添えて現金書留で郵送、又は軽 one 耐久事務局(サーキット窓口)までお持ちください。なお、FAXでのエントリー、ご入金でのお支払いは受け付けません。エントリー用紙、リザルトにペンネームを使用することは可能ですが、誓約書には住民票の住所氏名を記入してください。

【7】参加受理

本大会の参加申込みに際しての受理は、本大会事務局が発行する正式受理書をもって、参加を受け付けたものとします。（正式受理書の発行は申し込み期間終了後、メールまたは郵送にて発行されるものとします）
本大会事務局は参加申込みの個人又はチームに対して、理由を明かすことなく参加を拒否することが出来るものとします。

【8】中止延期・エントリー費の返金

主催が危険と判断した場合及び、様々な要因でタイムスケジュールに遅れがでた場合は、中止もしくは延期、タイムスケジュールの短縮を行う場合があります。尚、悪天候による中止・天災による施設使用が困難な場合の中止にかぎりエントリーフィーから¥1,000（事務手数料）を差し引いて返却致します。エントリー受理後のキャンセルについては大会日から1週間前までは¥1,000（事務手数料）を差し引いて返却いたします。1週間で切ったからの参加者理由による返却は行いません。

【9】厳守事項

1. 全てにおいて、時間厳守とします。タイムスケジュールに遅れるチームは走行をお断りする場合があります。
やむを得ない事情等により、朝の受付時間に間に合わない場合は受付終了前に事務局までご連絡ください。
(連絡なき場合は出場を辞退したものとみなします)
2. ドライバーズミーティングは必ずドライバー全員が参加してください。
3. 参加ドライバー&チームは、チーム代表者を参加申込書に明記し、アナウンスによる呼び出し等が行われた場合は速やかに対応できる体制を取って下さい。
また、メインポストからのペナルティ等に対しても、チーム代表者は速やかに対応してください。
4. 大会規則の遵守 全ての参加者は大会規則書の熟読・理解し規則を遵守すること
(疑問のある場合はドライバーズブリーフィングで速やかに質問し、走行前に確認すること)

【10】ゼッケン

ゼッケンは主催者側で決定し、当日ゼッケンを配布します。
配布されたゼッケンを参加車輛のドア部左右（両ドア）に貼り付けてください。
ゼッケンは走行開始から終了まで、脱落することなく必ず保持してください。

【11】走行時服装規定

参加ドライバーはヘルメット（JIS規格C種以上が望ましい）及びレーシンググローブ（指先まで覆うもの）必須。また、レーシングスーツ・レーシングシューズが望ましいが、上下の繋がった長袖・長ズボンの服（作業ツナギ服等、なるべく燃えにくく丈夫な素材が望ましい）及び、運動靴での参加も可。

【12】K-Oneクラス・K-One改造クラス 共通車両規定

1. 一般市販の自然吸気（NA）軽自動車（普通車及び別車種のエンジン乗せ換え不可）
2. 駆動方式は自由とする。
3. エンジン、ミッション、CPU は走行車両の純正の物をノーマルのまま使用すること。
4. **機械式LSDの装着は不可とする。（車検時にジャッキアップにて確認を行います）**
5. 車両純正の燃料タンクを一切の改造を加えずそのまま使用すること
（燃料タンクの改造・安全タンク・コレクタータンクなど一切禁止。）
6. 一般のラジアルタイヤ（Sタイヤの使用は禁止）フェンダーよりはみ出さないこと。
~~大会当日は練習・予選・決勝レースを同一銘柄のタイヤを使用する事。決勝レース前のタイヤ交換は可。~~
~~例として、練習・予選時がダンロップZⅢの場合は、決勝時も同銘柄のダンロップZⅢを使用して下さい。~~
7. **足回りはサスペンション（スプリング、ショックアブソーバー、アッパーマウント）の変更を可とする。**
8. 4点式以上のシートベルト及び消火器を確実に取り付け着用すること。
消火器は車内の手の届く範囲に確実に固定をすること。
9. ブレーキとクラッチのリザーバータンク、バッテリーの+ターミナルは確実にテーピングを行うこと
※バッテリーをドライバーと同じ室内に移動する場合、
バッテリーは金属製の留め金を使用し車体に確実固定し、箱型の金属製カバーをボルトにて取り付けること。
10. **衝突・横転などでドライバー及び乗員の安全を確保できる車輛であること。**
オープンカーの場合は安全強度のある4点式以上のロールケージを必ず装着すること。
ダッシュボードの取り外しは不可とする。
フロントのドアは助手席側も正常に開閉出来る事。
なお、窓ガラスは全ての箇所（フロント・運転席・助手席・後部座席・リア）で取り外しは不可とする。
11. 排気系及び吸気系の交換は自由とする。
ただし、**最大音量は90dB未満を厳守**とし、また**最低一つ以上のサイレンサーを有すること。**
12. 前後に牽引可能な牽引フックを確実に取り付け、矢印などで牽引場所を確実にわかる状態にすること。
13. 油脂類（LLCクーラントも含む）の漏れ防止策及び、レベルゲージの漏れ防止策に講じること。
※コースイン前にオイル、水、燃料等の漏れ、白煙等が発見された場合、修復が完了するまで
コースインは一切認めません。
14. フロアマットなど、確実に固定されていないアクセサリ類は車室内及びトランクから排除すること。
15. ワイパー・ヘッドライト・テールランプ・ウインカー・ブレーキランプは正常に作動すること。
ヘッドライト及びテールランプは純正もしくは同等の物を使用し、取り外しやダクト穴を開ける等の加工は禁止とする。なお、レース中にクラッシュが生じた場合でも、ヘッドライトは最低片側のみ、テールランプは両側付いた状態でないと出走は認めない。
16. ウインドネット（手作り不可）を取り付ける場合は、ボルト等の金属製の物を用い確実に取り付けすること。
17. 室内エアダクトを設置する際、ボルト・リベット等を用いて確実に固定すること。
簡易的な取り付け（テープ・インシュロック等での固定）は一切認めない。
18. 他車との接触時に脱落する恐れのあるエアロパーツ（スポイラー・カナード等）の取り付けは不可とする。
19. **バンパーなどの外装パーツの取り外しは禁止とする。**
レース中のクラッシュにより外れてしまった場合は、車両の修復が完了するまで出走は認めない。
20. **スペアカー（Tカー）の使用は可とする。ただし車両変更は決勝レース開始前まで可とし、1度変更した場合は賞典外扱いでの出走とする。また、車両変更を行う場合は、必ず出走前に再車検を受ける事とする。**

K-Oneクラス

1. フェンダーは純正の物とし、爪折り・叩き出しまでを可とする。
※取り付け位置の変更や一部をカットする事は不可とする。
社外のオーバーフェンダー・ブリスターフェンダーの取り付け不可
2. フロントドア(運転席・助手席)は、内装含め純正の無加工の物を使用することとし、穴開け等不可とする。
※サイドバー装着時にドア内装が干渉する場合の一部加工は可
ガラスは全て純正もしくは同等品を使用すること。フロントドア以外の内装の加工は自由とする。
3. 屋根の素材変更は不可とする。
4. ボンネット及びリアゲートは純正の物を無加工で使用すること。**消音材や内装トリムの取り外しは可とする。**
5. ボディーフレームはロールゲージ装着においての小加工は認めるが、スポット増しを始め溶接などによるボディ補強やフレームへの穴開け加工は不可とする。**ボルトオンで装着できる補強パーツの装着は可とする。**
6. エアコンおよびヒーターの取り外しは不可とし、正常に作動すること。
エアコンベルトの取り外しも不可とする。
7. **6点式以上のロールケージを装着を強く推奨します。**
8. バンパーのダクト加工などは認めるが、バンパーの下半分をカットするなど、元の形状と外観が著しく変わる加工は不可とする。

K-One改造クラス(下記の1つでも該当する車両は改造クラスとする)

1. フェンダーは純正の物とし、爪折り・叩き出し・一部をカットする事までを可とし、
取り付け位置の変更や追加のステーを介して固定する方法での取り付けは不可とする。
※社外のオーバーフェンダー・ブリスターフェンダーの取り付け不可
2. ドア内側の穴開け加工などの軽量化
運転席ドアは内装を含め加工は不可とする。※サイドバー装着時にドア内装が干渉する場合の一部加工は可
助手席側ドアも純正の無加工の物を強く推奨します。
ガラスをアクリルもしくはポリカウインドに変更 ※フィルムの様な、薄く強度の無い物は不可とする。
3. **屋根の素材変更は不可とする。**
4. **ボンネット及びリアゲートは純正の安全な範囲での加工、又は市販のFRP・カーボン素材品への変更は可**
※手作りの物やオフィシャル側で強度がないと判断した物への変更は不可とする。
5. ボディーフレームへの加工は原則禁止とする ※ロールゲージ装着においての小加工は除く
※2021年シリーズより新規に出場する車両は、ボディーフレームへの加工や穴開け加工は不可とする。
※2020年までの出場車両についても追加の加工や、安全性を損なうと判断される加工の場合は出走を認めない可能性がある。※レギュレーション変更に伴う経過措置として認めるが、順次不可となります。
6. エアコン・ヒーターの取り外し
7. **6点式以上のロールケージの装着を必須とする。**
ロールケージは確実な方法で固定しなければならないが、ピラー止め用のブラケットなどを除き、溶接のみでの取り付けは認められない。ロールバーパッドは乗車定員などに合わせ、通常的車検をクリアするように装着すること。安全性向上のためサイドバーの装着も推奨する。
6点のロールケージの材質はスチールやクロモリなど、十分な強度が確保できるものに限定する。
その他追加バーは他の材質も認めるが、安全に取り付けること。またロールケージと車体に著しい隙間があってはならない。パイプはピラーなど車体の内装に密着していること。

【13】N-Nクラス 車両規定 (トゥデイ・ビートはN-N Bクラス)

N-Nクラスは一般市販の自然吸気(NA)軽乗用車で限りなくノーマルに近い状態で参加となりますので、下記に記載の箇所以外の変更・改造・加工は不可となります。

1. エンジン、ミッション、CPU はノーマルのまま使用すること。
2. **機械式LSDの装着は不可とする。**(車検時にジャッキアップにて確認を行います)
3. 車両純正の燃料タンクを一切の改造を加えずそのまま使用すること
4. 運転席シートはフルバケットもしくはセミバケットシート、4点式以上のシートベルトを必須とし、取付は確実にされていること。
5. ステアリングとシフトノブの交換は自由とする。
6. スペアタイヤ、車載工具、固定されていないフロアマットや書類等のみ外していいものとしそれ以外の内装やシート類、外装の取り外しは禁止とする。
カーオーディオの取り外しは不可とする。※車両購入時に付いていない場合は取り付けを行なってください。
7. **ドライバーの安全保護の為、定員乗車タイプの6点式以上のロールケージの装着を推奨します。**
※ロールケージ装着の場合で、ロールケージと干渉する箇所の内装やリアシートの部分的な加工やカットは可とする。※2022年度より内装及びリアシートの完全な取り外しは不可とする。
8. **足回りはサスペンション(スプリング、ショックアブソーバー、アッパーマウント)の変更を可とする。**
9. ブレーキはキャリパー及びローターは他車種流用を可とするが、社外キャリパーへの変更は不可とする。
※ブレーキパッドはイベント前に新品装着を推奨します。
10. フェンダーは無加工とし、ツメ折りや叩き出しも禁止とする。タイヤホイールの変更は可とするが、フェンダーからのハミ出しは禁止とする。インナーフェンダーは装着されていなくても良い事とする。
装着可能タイヤは市販ラジアルのみとし、Sタイヤおよびスリックタイヤは禁止となります。
~~大会当日は練習・予選・決勝レースを同一銘柄のタイヤを使用する事。決勝レース前のタイヤ交換は可。~~
11. バンパーの穴開けや切断、ワンオフ加工や作成は一切禁止とする。
ディーラーオプションで設定されているエアロの装着は可。例：スズキ⇒スズキスポーツ/ホンダ⇒無限等
12. **マフラー(排気系全て)はその競技車両の純正マフラーもしくは同等品を使用する事とする。**
13. エアクリナーはスポーツフィルター純正交換タイプであれば変更可とする。
クリーナーケースの取り外しや穴開け加工は不可とする。
14. メーター(水温計・油温計など)の装着は可とする。
15. ライト類は全て装備し、正常に動作すること。なお、レース中にクラッシュが生じた場合でも、ヘッドライトは最低片側のみ、テールランプは両側付いた状態でないと出走は認めない。
16. **消火器の取り付けを義務とする。**なお、消火器は車内の手の届く範囲に確実に固定をすること。
17. 車両の前後に牽引可能な牽引フックを確実に取り付け、矢印などで牽引場所を確実にわかる状態にすること。
※純正で予め取り付けられている牽引フックでも可。
18. ブレーキとクラッチのリザーバータンク、バッテリーの+ターミナルは確実にテーピングを行うこと。
油脂類(LLCクーラントも含む)の漏れ防止策及び、レベルゲージの漏れ防止策に講じること。
※コースイン前に車両から液体漏れ、白煙等が発見された場合、修復が完了するまでコースインは認めない。
19. AT車及びCVT車に限りエンジンオイルクーラー及びATF/CVTクーラーの装着を可とする。
MT車に関してはオイルクーラーの装着は不可とする。
20. バンパーなどの外装パーツがレース中に外れてしまった場合、車両の修復が完了するまで出走は認めない。
21. ボディーフレームへの加工は禁止とする ※ロールケージ装着においての小加工は除く
22. **ウインドネット(手作り不可)を取り付ける場合は、ボルト等の金属製の物を用い確実に取り付けすること。**

【14】車検

受付を完了させ車検準備が出来たチームは、車輛の駆動側をタイヤが浮く程度ジャッキアップさせボンネットを開けてヘルメットをひとつ車輛にのせて待機すること。車検が完了したチームからゼッケンを渡します。

【15】賞典

- ① K-Oneクラス ② K-One改造クラス ③ N-N Aクラス ④ N-N Bクラスの4クラス分け。
各クラス上位3チーム トロフィー+副賞 ※台数により変動あり
※専門/大学生区分は参加割引のみとなり、学生表彰はありません。

【16】参加走行規定

1. 予選

予選走行を行いスターティンググリッドを決定します。

2. 決勝グリッド

決勝のスターティンググリッドは、**クラスに関係無く予選のベストタイムでのグリッド順となります。**

3. 決勝スタート方式

スタート方法は、セーフティーカー先導によるローリングスタート。セーフティーカーを先頭にフォーメーションラップを開始。隊列が整ったところでセーフティーカーがピットイン。この時、前の車両との間隔を極力詰めること。ブリジストンゲートで振る日章旗を合図にレーススタートとします。**セーフティーカーがピットイン後もスタートライン（ブリジストンゲート）手前は追い越し禁止です。**グリッド整列終了時刻までに整列できない車両はピットスタートになりますので、オフィシャルの指示に従ってください。

※ポールポジションおよびセカンドポジションの車両は、先導のセーフティーカーとの間隔を車両2～3台分程度をキープし、それ以上間隔を開けずにフォーメーションラップを行うこと。

またブリジストンゲート手前での加速や他車の追い越し、隊列をみだす行為をしたとみなされる車両はペナルティ対象とする。

※ピットスタートは、3分間のピットストップ後にスタート

4. 走行中の運転席窓は全閉

走行中は運手席の窓は全閉で、ドアロックは解除してください。
ただし、ウインドネット装着の場合は、窓を開けての走行を可とする。

5. ピットイン・ピットアウト

ピットイン・ピットアウトの際は必ず後続車に分かるようにウインカー等で合図すること。

急激な進路変更は大変危険です

決勝中のピットアウトはオフィシャルの誘導はないのとしドライバーのタイミングでコースインとなる。

6. コースアウト

コースアウトなどにより本コースに復帰（オフィシャルの引き上げが必要）できない場合は、ハザードを点灯し車の中で待機すること。**※車両火災時を除く**

セーフティーカー介入後（場合によってはレッドフラッグにて走行中断）オフィシャルが迅速に車両の引き上げに向かいます。オフィシャルが到着したら、ドライバーは速やかにオフィシャルの指示に従い車両を本コースに復帰後、一旦パドックに戻り、オフィシャルによる再検査（車両点検）を受けた後、再スタートを切ることができます。

7. セーフティーカー先導ラップ

走行に支障をきたす事故・車両回収がコース上で発生した場合は、

フラッグポストより黄旗+S Cボードを提示しセーフティーカーを介入します。

黄旗+S Cボードの前を通過した車両は追い越し禁止、1列になり隊列を整えセーフティーカーの後ろに続いて下さい。

セーフティーカーがコースに入っている間、黄旗+S Cボード前を通過していない車両はピットイン可能です。1度でも黄旗+S Cボードの前を通過した車両はピットイン不可となります。S Cボードが出ているタイミングでピットインをしていた車両は、コースインのタイミングはオフィシャルが誘導を行いますので指示に従って下さい。

コースの処理が終わり次第、先頭のセーフティーカーがコース出口からピットインをし、その週のブリヂストンゲートからレース再開となります。※メインポストにて緑旗が提示されます。

セーフティーカーがピットイン後もスタートライン（ブリヂストンゲート）手前は追い越し禁止です。

※なお、セーフティーカーの後ろについた先頭および2番目の参加車両は、先導のセーフティーカーとの間隔を車両2～3台分程度をキープし、それ以上間隔を開けずにフォーメーションラップを行うこと。またブリヂストンゲート手前での加速や他車の追い越し、隊列をみだす行為をしたとみなされる車両はペナルティ対象とする。

※セーフティーカー介入時のタイヤ交換は禁止とする。

8. ピットロード

ピットロード及びパドックはリバースギアの使用を禁止し、

ピットロード速度は20km/h以下を遵守しシートベルトは外さずに走行すること。

(バックする場合は、必ず手押しすること)

また、ドライバー交換等を含む決勝中のピット作業の際は、必ずエンジンを停止すること。

エンジンの押しがけ及び走行補助等の行為は禁止とする。

9. ドライバーチェンジ

同一ドライバーの連続走行時間に制限はありませんが、ドライバーチェンジの回数は5回以上とする。

なお、ドライバー交代場所でのピット作業は全て禁止とする。(エアチェックや冷却など)

もしピット作業をする場合は各自パドックで行うこと。その際のドライバー交代は不可とする。

10. タイヤ交換

決勝レース開始前のタイヤ交換は可とする。練習・予選・決勝レースを同一銘柄のタイヤを使用する事。

決勝中のタイヤ交換はバーストなど予期せぬ状態に限り可とするが、オフィシャル立ち合いのもと作業すること。無断で交換した場合、ペナルティ対象として10分ストップとする。

【17】給油

決勝中の給油は無しとする。決勝レース開始前に燃料を満タンにすることを推奨します。

なお決勝中の燃料切れによるコース内での停止はリタイヤとする。

【18】計時・順位の認定

計時はサーキットの自動計測装置を用いて行う。耐久レース終了後は、先頭車両がスタートから規定走行時間経過後にスタートラインを通過しチェッカーフラッグが振られ、スタートラインを通過した車輛からレース終了となります。順位については終了時点の周回数により決定する。但し、同一周回数の場合は先にスタートラインを通過した順とする。

【19】レース成立・不成立

耐久レース中に著しい悪天候又はトラブルにより競技の続行が不可能と競技長が判断した時は下記の対処となります。 **※競技時間の50%～成立とする。**

また、レッドフラッグによって途中中断した場合で、再スタートする場合には計時を終了した時点の順位（レッドフラッグの提示前の周回）を再スタートの順位とする。

また、再スタート終了後、結果に中断前レースの周回数のみ加算し総合順位とする。

【20】完走

チェッカーフラッグを受けたものを完走として認める。

【21】クレームについて

様々なクレームに対しては、チーム代表者署名・捺印の入った文書のもと、チェッカー後20分以内にクレーム申請料¥30,000を添えて、事務局へ提出してください。尚、クレームが成立した場合は申請料¥30,000は返却致します。 **※口頭でのクレームは一切受け付けません。**

全ての判断は運営側の一任となります。

【22】諸注意

危険箇所への立ち入り禁止。コース内やクラッシュパッド上など、危険箇所への立ち入りを禁じます。

火気厳禁 パドック内は禁煙です。喫煙は喫煙所をお願いします。

小さなお子様やペット連れについて 小さなお子様をお連れの場合は目を離さず、手を繋ぐなどして目を離さないようにお願いします。又、ペットをお連れの場合はリードを必ずお付け下さい。

サービスカーは1チームに対し1台のみパドック内に駐車可能です。

【23】ペナルティ

違反者に対し、黒旗と当該車両のゼッケンがメインポストから提示される。

当該車両はピットに戻り、オフィシャルの指示に従い、指定エリアに停止すること。

ペナルティストップの時間は、違反の軽重に基づき決定される。

【24】クラッシュ共済

当サーキットの施設等を破損してしまった場合、破損してしまった個人の全額負担とする。

そのための保険として任意でクラッシュ共済に加入することができる。

1口3,000円 最大6口まで加入可能。

1口あたり25,000円までガードレールやクラッシュパッドの交換費用を保障。

加入は当日の走行開始前までとし、チームでの加入のみとする。

加入希望チームは当日、受付時に代表者が別紙に記入。その場で提出し共済代を支払うこと。

【25】フラッグ（旗）・シグナルの説明

フラッグはサーキットを走る上で、**重要なルール**となります。フラッグの意味を理解した上で、見落とし等のないように走行願います。

本大会では、フラッグの一部が通常の意味と異なる使用法となりますのでご注意ください。

黄旗→危険箇所の発生あり。

危険回避出来る状態で走行してください。

黄旗＋SCボード→ペースカーの介入。全車追い越し禁止

ペースカーから指示のある場合は、指示に従い安全な速度で速やかに隊列の最後尾に着いてください。

赤旗→走行中断。追い越し禁止

オフィシャルの指示がない限りコース上での停止を一切禁ずる。基本的に決勝中は使用しませんがやむを得ない場合（悪天候によるレース中断等）に限り使用します。

緑旗→先に出した合図の解除（コースクリア）

黒旗→ピットイン命令。

非スポーツマンシップ的行為や、人為的危険のあるペナルティの対象車輛に対してのピットイン命令。改善できる場合のみ、オフィシャルの指示に従いコースインできる。但し競技長の判断により、度重なる黒旗指示を受けた場合は失格とする（同じ理由のペナルティを2度受けた場合等）

日章旗→レーススタートの合図

チェッカーフラッグ→走行終了又は競技の終了。

【26】ペナルティ一覧

1. 受付・車検時間終了に間に合わなかった場合 ⇒ 決勝レース開始時 ピットスタート
2. 午前中の練習・予選走行のどちらも走行出来なかった場合 ⇒ 決勝レース開始時 ピットスタート
3. 車両規則違反 ⇒ 程度に応じて決勝レースより周回数の減算または賞典外（※出走を認めない場合もあり）
4. レース中の危険行為・マナー違反・他車への激しい追突など ⇒ ピットスルーもしくはピットストップ（程度に応じて1分～）
5. 車両横転時 ⇒ 車両の程度に関わらずリタイヤ扱いとする
6. レーススタート時及びフォーメーションラップ時のレース再スタート時におけるブリジストンゲート手前での加速や他車の追い越し、隊列をみだす行為をしたとみなされる車両はピットスルーペナルティとする
7. レーススタート時におけるポールポジション及びセカンドポジションのドライバーは、日章旗が振られるまでは30km/h以下での徐行とし、日章旗が振られてから加速可能となります。オフィシャルが違反行為と判断した場合は、ピットスルーペナルティとする
8. コース入口及びコース内での逆走は禁止とし、違反行為を行った場合はリタイヤ扱いとする

以上